

宿泊約款

第1条（適用範囲）

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

第2条（宿泊契約の申込み）

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - （1）宿泊者名および連絡先住所、電話番号
 - （2）宿泊日及び到着予定時刻
 - （3）宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
 - （4）その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第3条（宿泊契約の成立等）

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条（申込金の支払いを要しないこととする特約）

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条（宿泊契約締結の拒否）

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - （1）宿泊の申し込みが、この約款によらないとき
 - （2）満室により客室の提供が不可能なとき
 - （3）宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき
 - （4）宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき
 - イ）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年

法

律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ）暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ）法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

- （5）宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき

宿泊約款

- (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
 - (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき
 - (9) 京都し旅館業の適切な実施の確保等に関する条例（京都市旅館業法の施行および旅館業の適切な運営を確保するための措置に関する条例・規則、京都市旅館業法の施行に関する要綱）第19条の規定する場合に該当するとき
 - イ) 泥酔者、その他宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのある者。
 - ロ) 宿泊中、放歌、けん騒、歌舞、音曲等で他の客に迷惑を及ぼす恐れのある者。
 - ハ) 明らかに支払い能力のないと認められる者
 - ニ) 挙動不審と認められる者。
- (10) かつて当ホテルにおいて、本条のいずれかに該当する行為をしたことがあるとき。

第6条（宿泊客の契約解除権）

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除く）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後6時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条（当ホテルの契約解除権）

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき
 - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき
 - イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき
 - (4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (5) 宿泊施設もしくは施設関連の職員に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
 - (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき
 - (7) 京都市旅館業条例（宿泊拒否の事由）第19条の規定する場合に該当するとき
 - (8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき
 - (9) 宿泊客が、他者に対し暴行、脅迫、恐喝等のほか、暴力的要求行為、その他の威圧的要求または行為を行ったとき
 - (10) 宿泊客が、他者に対し危険、不安等を感じさせるなどの迷惑行為または言動をしたとき
 - (11) 第5条、若しくは本条のうちいずれかに該当することが当ホテル利用中に判明したとき
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊約款

第8条（宿泊の登録）

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、年令、住所及び職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
3. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第9条（客室の使用時間）

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日正午までとします。ただし、連続して宿泊する場合には到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過3時間までは、室料金の3分の1（又は室料相当額の30%）
 - (2) 超過6時間までは、室料金の2分の1（又は室料相当額の50%）
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の全額（又は室料相当額の100%）

第10条（利用規則の遵守）

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条（営業時間）

当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、館内掲示、客室内のサービスディレクター等で御案内いたします。

- (1) フロント・キャッシャー等サービス時間：
 - イ) フロントサービス 24時間
 - ロ) 外貨両替サービス 24時間
- (2) 飲食等サービス時間

TENJIN

- イ) 朝食 07:00～11:00 (10:00ラストオーダー、以下L.O.という)
- ロ) 昼食 12:00～ (13:30 L.O.)
- ロ) アフタヌーンティー 12:00～16:30 (14:30 L.O.)
- ハ) 夕食 (オールデイダイニング) 17:30～22:00 (21:00 L.O.)
夕食 (シェフズテーブル) 18:15～
- ニ) バーラウンジ 17:30～24:00 (23:00 L.O.)

インルームダイニング In-Room Dining

- ・朝食 07:00～11:00 (前日22:00 L.O.)
 - ・オールデイメニュー 11:00～22:00
 - ・深夜メニュー 22:00～07:00
- (3) スパおよび温浴施設サービス時間
 - イ) フィットネスジム 24時間
※16歳未満のお子様のフィットネス機器や設備のご利用はお断りいたします。
 - ロ) スパトリートメント 10:30～21:00(19:45 L.O.)
 - ハ) サーマルプール 08:00～21:00
※16歳未満のお子様のご利用は保護者の同伴が必要です。
4歳未満のお子様のご利用はお控えください。
 - ニ) サーマルルーム 08:00～21:00
※16歳未満のお子様のサーマルルームのご利用はお断りいたします。

前項の時間は、止むを得ず変更することがあります。
その場合は、適宜お知らせいたします。

宿泊約款

第12条（料金の支払い）

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した際にフロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第13条（当ホテルの責任）

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは補償料を支払いません。

第15条（寄託物等の取扱い）

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルに故意または重大な過失があると認められる場合を除き、15万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失があると認められた場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

第16条（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

宿泊約款

第17条（駐車責任）

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたと認められたときは、その賠償の責めに任じます。

第18条（宿泊客の責任）

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第19条（客室への入室について）

1. 当ホテルでは次に掲げる場合において、宿泊契約締結後でも宿泊者の許可なく客室へ入室する場合がございます。
 - (1) 清掃、ルームサービス等のホテルサービスを提供するとき
 - (2) 利用規則に反する行為またはその懸念が確認されたとき
 - (3) 警察、消防の指導に従い、入室が必要と判断されたとき

第20条（個人情報の保護）

宿泊契約に伴い宿泊客から開示いただきました個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき管理いたします。

第21条（優先する言語）

本約款は日本語と英語にて作成されますが、万が一双方に理解の不一致または相違がある場合は、日本語版を優先するものとします。

第22条（約款の変更）

1. 本約款は、民法に定める定型約款に該当し、宿泊客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性及び相当性があると認めた場合には、民法の規定に基づいて、本約款の各条項を変更します。
2. 本約款が変更された場合には、変更後の規定の内容をWebサイトに掲載し、掲載の際に定める効力発生日から変更後の内容が適用されるものとし、尚、本約款を変更する場合には、変更内容等を記載した書面または客室内のインフォメーション等適切な方法にて周知します。

宿泊約款

【別表第1】 宿泊料金等の内訳

宿泊者が支払うべき総額の内訳		税金の精算
宿泊料金	①基本料金（室料） ②サービス料 （①×15%） ③税金 （A）消費税 （B）京都市宿泊税	（A）消費税（①+②）×15% （B）京都市宿泊税 宿泊者1名1泊につき 基本料金及びサービス料の合計が 20,000円未満：200円 20,000～50,000円未満：500円 50,000円以上：1,000円
追加料金	④飲食料及びその他 利用料金 ⑤サービス料 （④×15%） ⑥税金 （C）消費税	（C）消費税（④+⑤）×15%

備考：税法が改正され税率等が変更になった場合は、その改正された規定によるものとします。

【別表第2】 違約金（第6条第2項関係）

	不泊	当日	前日	10日前	20日前	30日前
9室以下	100%	100%	100%			
10～50室	100%	100%	100%	80%	50%	—
51室以上	100%	100%	100%	80%	50%	30%

※補足

1. %は基本料金（室料）に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮された場合は、その短縮日数にかかわらず1泊分（初日）の違約金を申し受けます。
3. 上記以外に、個人予約は宿泊予約確認書に明記されているもの、また団体については事前協議により交わされた契約書の規定が適用される場合がございます。

利用規約

当ホテルでは、お客様に安全で快適なご滞在をお楽しみいただくために、宿泊約款第 10 条に基づき、次の通り利用規約を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
この利用規約をお守りいただけない場合は、宿泊約款第 7 条により、宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げることがあります。またこの利用規約を守らないことによって生じた事故については、当ホテルは責任を負いかねますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

1. 客室のご利用に関して

1. 客室からの避難経路図は、客室入口ドアの裏側に掲示しておりますので、ご確認ください。
2. ご在室中、特にご就寝の際には内鍵とドアラッチをお掛けください。
3. ドアをロックされた際は、ドアラッチを掛けたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認ください。また、不審者の来訪に際しては、不用意にドアを開けずフロントにご連絡ください。
4. 客室、また館内の指定場所以外での喫煙はお控えください。なお、客室内で喫煙された場合は、寝具・カーテン・壁紙等のクリーニング費用その他補修等にかかる実費を申し受けます。
5. その他、火災の原因となる行為はご遠慮ください。
6. 客室内では暖房用、炊事用などの火器等火災の原因となりやすいものをご使用にならないでください。
7. 廊下や階段などの共用スペースに物を置かないでください。火災や地震などの災害時に、避難の妨げになる恐れがあります。
8. 火災等が発生したときは、フロントへご連絡下さい。
9. ホテルの許可無く客室を営業行為(展示会、パーティその他)等、ご宿泊以外の目的に使用することはできません。
10. ホテルの許可なく客室の備品を移動したり、また客室内に造作を施し、あるいは改造する等現状を著しく変更することはできません。
11. ホテルの外観を損なうような物を窓側に置かないでください。

12. 午後 10 時以降のご訪問客との面会は、ロビーでお願いいたします。
13. 登録された宿泊客以外のご宿泊は固くお断りしております。
14. 未成年のみの宿泊は特に親権者の許可がない限りお断り申し上げます。
15. お客様の安全上の観点から、客室において「Do not disturb/起こさないでください」のランプを点灯されている場合であっても、長時間に渡ってお客様と連絡が取れていない場合には、ホテル従業員が客室への電話連絡や客室前での呼び出しを行います。
16. サーマルプール及びフィットネスジムをご利用の際、ファッションタトゥーや刺青などにより、ラッシュガードもしくはカバーシールのご利用をお願いする場合がございますので予めご了承ください。

2. お部屋の鍵・お部屋番号について

1. お出かけの際は、必ず施錠されていることを確認し、鍵はお持ちください。(当ホテルは自動施錠となっております。)
2. ホテルレストラン、バー等でのご署名によって利用される場合は、お客様の名前と部屋番号をホテル予約管理システムと照合の上、お部屋付けさせていただきます。

3. お支払いに関して

1. お会計はご出発の際にフロント会計でお願いいたします。なお、ご滞在中でも都合により会計をお願いする場合がありますので、その都度お支払いください。
 2. ご到着時にお預かり金を申し受ける事がございますので、ご了承ください。
 3. 買い物代、切手代、タクシー代、郵便切手代、荷物送料等の立替えはお断りさせていただきます。
 4. 客室内からの外線電話をご利用の際は、施設使用料が加算されますのでご了承ください。
-

利用規約

5. 法定の税金の他、サービス料として15%を加算させていただいておりますので、お心付けは辞退を申し上げます。
 6. 旅行小切手以外の小切手によるお支払い及び両替はお断りいたします。
4. 貴重品、お預かり品について
 1. ご滞在中の現金、有価証券、その他貴重品の保管につきましては、フロントに備え付けの貸金庫（無料）をご利用ください。ご利用にならないで万一紛失、盗難等が発生した場合にはその責任を負いかねますのでご了承ください。なお、美術品、骨董品等の品物はお預かりいたしかねます。
 2. ホテル内での遺失物の処理は、一定期間ホテルで保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。
 3. ホテルでのお預かり物は、所定の期間（1ヵ月）を経過しても連絡がない場合、お引取りの意思がないものとし処理させていただきます。
 5. ホテル内では、他のおお客様の迷惑になる下記の物の持ち込み、または行為はご遠慮いただいております。
 1. 盲導犬以外の動物、鳥等のペット
 2. 火薬、揮発油、その他発火または引火性の物
 3. 悪臭を発する物
 4. 法により所持を禁じられているピストル、刀剣、覚醒剤の類
 5. 賭博や風紀を乱すような行為、または他のおお客様の迷惑になるような言動
 6. バスローブ、スリッパ等で客室の外に出る事（但し当ホテルB1階スパ、サマープールご利用時を除く）
 7. パジャマで客室の外に出る事
 8. 広告宣伝物の配布、品物販売、勧誘等
9. ホテルの許可無くホテル内で撮影した写真を営業上の目的で使用する事
 10. 緊急事態、あるいはやむを得ない事情を除き、非常階段、屋上、機械室等お客様用以外の施設に立入ること
6. 宿泊予約第5条第1項第3号に定める公序良俗等に反する恐れのある場合、又は同項第4号に定める暴力団等に該当する場合は、当ホテルのご利用をお断り申し上げます。（予約成立後、あるいは利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断り申し上げます。）
 7. 建造物、備品、その他の品物を損傷、汚染または紛失させた場合には、相当額を弁償していただく場合があります。
 8. 高声や放歌、またテレビやスピーカー音量を大きくするなど、他のお客様並びに近隣住民にご迷惑のかかるような行為はなさらないでください。周囲へのご配慮をお願いいたします。
 9. ゴミは客室内のゴミ箱へお捨ていただくか、ホテルスタッフへお渡しください。
 10. ドレスコードを設けている施設がございますので、ホテルスタッフよりお声掛けさせていただくことがございます。その際にはご対応をお願いいたします。

■ 温泉の成分

1. 源泉名 しょうざん紙屋川温泉
京都府京都市北区衣笠鏡石町48番地
2. 温泉の泉質 アルカリ性単純温泉 (低張性・アルカリ性・低温泉)
旧泉質名: 単純温泉
3. 温泉の温度 源泉温度: 27.3℃ (気温20℃)
浴用に供する温泉の温度: 56℃
4. 温泉の成分 試料1kg中の成分: 分量及び組成

(ア) 陽イオン

成分	mg	mval	mval%	成分	mg	mval	mval%
水素イオン(H ⁺)	0.1未満	-	-	ふっ化物素イオン(F ⁻)	0.9	0.05	0.99
リチウムイオン(Li ⁺)	0.1	0.01	0.30	塩化物イオン(Cl ⁻)	1.3	0.04	0.77
ナトリウムイオン(Na ⁺)	104.5	4.55	95.47	臭化物イオン(Br ⁻)	0.1	0.00	0.03
カリウムイオン(K ⁺)	2.0	0.05	1.07	よう化物イオン(I ⁻)	0.1未満	-	-
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0.2	0.01	0.23	硫化水素イオン(HS ⁻)	0.1未満	-	-
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.6	0.05	1.04	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	5.9	0.12	2.57
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	1.6	0.08	1.68	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	0.1未満	-	-
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	0.3	0.01	0.34	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	0.1未満	-	-
バリウムイオン(Ba ²⁺)	0.2	0.00	0.06	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.1未満	-	-
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.1未満	-	-	りん酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	0.1未満	-	-
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.1未満	-	-	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	245.3	4.02	83.96
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.1未満	-	-	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	16.8	0.56	11.69
鉄(III)イオン(Fe ³⁺)	0.1未満	-	-				
陽イオン計	109.5	4.76	100	陰イオン計	270.3	4.79	100

(イ) 陰イオン

(ウ) 遊離成分

非解離成分	mg	mmol	溶存ガス成分	mg	mmol
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	24.0	0.31	遊離二酸化炭素(遊離炭酸)(CO ₂)	0.1未満	-
メタほう酸(H ₂ BO ₂)	0.7	0.02	遊離硫化水素(H ₂ S)	0.1未満	-
メタ亜ひ酸(HAsO ₂)	0.1未満	-			
非解離成分	24.7	0.33	溶存ガス成分	0.1未満	-
溶存物質(ガス性のものを除く)	0.405 g / kg		成分総計	0.405 g / kg	

(エ) その他微量成分

総ひ素	0.001mg未満	亜鉛	0.01mg未満
銅	0.01mg未満	カドミウム	0.01mg未満
鉛	0.01mg未満	セシウム	0.01mg未満
総水銀	0.00005mg未満		

5. 温泉の成分の分析年月日 令和元年 5月 7日
6. 登録分析機関の名称及び登録番号 日本水処理工業株式会社
大阪府第5号

■ 禁忌症及び適応症

1. 浴用の禁忌症
病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期
2. 浴用の適応症
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷感性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態、病後回復期、疲労回復、健康増進

■ 浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守ってください。

1. 入浴前の注意
(ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けてください。酩酊状態での入浴は特に避けてください。
(イ) 過度の疲労時には身体を休めてください。
(ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めてください。
(エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴はできるだけ避けてください。
(オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流してください。
(カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておいてください。
2. 入浴方法
(ア) 入浴温度
高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けてください。
(イ) 入浴形態
心臓機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいです。
(ウ) 入浴回数
入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしても問題ありません。
(エ) 入浴時間
入浴温度により異なりますが、1回当たり初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長しても問題ありません。
3. 入浴中の注意
(ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴してください。
(イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出てください。
(ウ) めまいが生じ又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待ってください。
4. 入浴後の注意
(ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけてください(ただし、肌の弱い人は刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよい)。
(イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給してください。
5. 湯あたり
温泉療養開始後おむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎等が現れることがあります。このような状態が現れている間は入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待ってください。
6. その他
浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないでください。

■ 温泉利用に関する情報

1. 加水 温泉の量を補うために加水しています。
2. 加温 貯湯槽を有するため、衛生管理の目的から加温しております。
入浴に適した温度にするため、温水と冷水の水栓を備えております。
3. 消毒処理 衛生管理のため、源泉で二酸化塩素滅菌剤による消毒を行っています。

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 1. (Scope of Application)

1. Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2. (Application for Accommodation Contracts)

1. A Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s), address and phone number
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in Attached Table No.1)
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel
2. In the case where the Guest requests, during the stay, an extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph 2 of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3. (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the contract shall not be deemed to have been concluded if it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When an Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (or a minimum of three days when the period of stay is to exceed three days) by the date specified by the Hotel.

3. The deposit shall be first applied to the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly to the cancellation charges and compensation in this order on the occurrence of any event to which Article 6 or 18 applies, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date required as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Article 4. (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of Article 3, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same paragraph.
 2. In the case where the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of Article 3 and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as if the Hotel has accepted a special contract as prescribed in the preceding paragraph.
-

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 5. (Refusal of Accommodation Contracts)

1. The Hotel shall have the right not to accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:
 - (1) When the application for accommodation does not conform to the provisions of these Terms and Conditions.
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that would contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to the accommodation.
 - (4) When the Guest seeking accommodation is following particulars:
 - A. When a party seeking accommodation is an organized crime group as provided in Article 2 paragraph 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (“an Organized Crime Group”), a member of an Organized Crime Group as provided in Article 2 paragraph 6 of the same Act (“a member of an Organized Crime Group”) or a party or other anti-social element related to such groups.
 - B. When a party seeking accommodation is a corporation or other entity whose business activities are controlled by an Organized Crime Group or a member of an Organized Crime Group.
 - C. When a party seeking accommodation is a corporation whose directors include persons corresponding to a member of an Organized Crime Group.
 - (5) When a person requesting Hotel accommodation could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests
 - (6) When the Guest seeking accommodation is clearly determined to be carrying an infectious disease.

(7) When the Hotel or Hotel staff receives demands in a violent fashion or is requested to assume an unreasonable burden with regard to the Guest’s accommodations.

(8) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, the malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.

(9) Ordinance, Kyoto City Government (Refusal of Accommodation Contracts) Article 19 are applicable;

A. Very intoxicated persons and other persons who are deemed likely to trouble another Guest.

B. Persons who in the course of their stay are deemed likely to trouble other Guest by singing loudly, behaving boisterously, holding parties, performing on musical instruments, etc.

C. Person who clearly do not have the capacity to pay the charges.

D. Persons whose conduct is deemed to be suspicious.

(10) When the Guest seeking accommodation had violated these Terms and Conditions in the past.

Article 6. (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

2. In the case where the Guest has canceled an Accommodation Contract in whole or in part due to a cause for which the Guest is liable (except for instances where the Hotel has requested payment of a Deposit during the specified period prescribed in Paragraph 2, Article 3, and the Guest has canceled before making payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in Attached Table No.2. However, when a special contract has been concluded as prescribed in Paragraph 1, Article 4, cancellation charges shall be required only when the Guest has been informed of the obligation to pay such charges in the event of cancellation.

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

3. In the event that a Guest does not appear by 6 p.m. on the accommodation date (or two hours after the expected time of arrival if the Hotel has been notified) and has not notified the Hotel in advance, the Hotel may regard the Accommodation Contract as having been canceled by the Guest.

Article 7. (Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel)

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases: (1) When the Guest is deemed liable to conduct or has conducted him/herself in a manner that would contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to the accommodation. (2) When the Guest seeking accommodation is following particulars:
A. When a party seeking accommodation is an Organized Crime Group, a member of an Organized Crime Group, or a party or other anti-social element related to such groups.
B. When a party seeking accommodation is a corporation or other entity whose business activities are controlled by an Organized Crime Group or a member of an Organized Crime Group.
C. When a party seeking accommodation is a corporation whose directors include persons corresponding to a member of an Organized Crime Group.
(3) When a person requesting Hotel accommodation could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
(4) When the Guest seeking accommodation is clearly determined to be carrying an infectious disease.
(5) When the Hotel or Hotel staff receives demands in a violent fashion or is requested to assume an unreasonable burden with regard to the Guest's accommodations.

(6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, the malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.

(7) Ordinance, Kyoto City Government (Refusal of Accommodation Contracts) Article 19 are applicable.

(8) When the Guest does not obey any of the prohibitions of the House Regulations as stipulated by the Hotel which are deemed necessary for fire prevention, such as rules against smoking in bed, rules against interfering without due cause with the fire fighting facilities, and any other rules which are intended to protect the hotel against fire.

(9) When the Guest seeking accommodation lashes out violently, threatens, blackmails, demands in a violent fashion, or to take an overbearing demands or action.

(10) When the Guest seeking accommodation could act violent to other guests, or when a person is behaving in such a manner as to make the other guest feel danger or anxious.

(11) When the Guest seeking accommodation had violated Article 5 and/or Article 7 while the Guest is staying the Hotel.

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the service in the future during the contractual period that were not received.

Article 8. (Registration)

1. The Guest shall register the following particulars at the Front Desk of the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, address and occupation of the Guest(s)
 - (2) Nationality, passport number, port and date of entry in Japan (if the Guest is not of Japanese nationality)
 - (3) Date and estimated time of departure
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel
-

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 9. (Occupancy Hours of Guest Rooms)

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. till Noon the next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case extra charges shall be paid as follows:

- (1) Until 3:00 p.m., 30% of the room charge
- (2) Until 6:00 p.m., 50% of the room charge
- (3) After 6:00 p.m., 100% of the room charge

Article 10. (Observance of House Regulations)

The Guest shall observe the House Regulations displayed in the hotel.

Article 11. (Business Hours)

The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities etc. shall be notified in detail by brochures provided, notices displayed in house, or service directory in the guest room.

(1) Service hour of Front Desk, Cashier's desk, etc.

- A. Front Desk service is available for 24 hours
 - B. Money exchange service is available for 24 hours
- (2) Service hour for dining, drinking, etc.

TENJIN

- A. Breakfast from 7:00 a.m. to 11:00 a.m.
(10:00 a.m. Last Order, hereinafter referred to as "L.O.")
- B. Lunch from 12:00 p.m. (1:30 p.m. L.O.)
- C. Afternoon Tea from 12:00 p.m. to 4:30 p.m. (2:30 p.m. L.O.)
- D. Dinner (All-Day Dining) 5:30 p.m. to 10:00 p.m. (9:00 p.m. L.O.)
- E. Chef's Table from 6:15 p.m.
- F. Bar 5:30 p.m. to Midnight (11:00 p.m. L.O.)

In-Room Dining

- Breakfast from 7:00 a.m. to 11:00 a.m.
(Reservation must be made by 10:00 p.m. of the day before)
- All-day Menu from 11:00 a.m. to 10:00 p.m.
- Midnight Menu from 10:00 p.m. to 7:00 a.m.

(3) Service hour of Spa, Thermal, etc.

- A. Fitness Gym open 24 hours * Children under 16 are prohibited to use any of the gym equipment
- B. Spa Treatment from 10:30 a.m. to 9:00 p.m. (7:30 p.m. L.O.)
- C. Thermal Pool 8:00 a.m. to 9:00 p.m. *Children under 16 including non-swimmers must be accompanied by a parent or legal guardian. Children under 4 are prohibited to use the Thermal Pool.
- D. Thermal Room 8:00 a.m. to 9:00 p.m. *Children under 16 are prohibited to use the Thermal Room.

The business hours specified in the preceding Paragraph may subject to change due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed in appropriate manners.

Article 12. (Payment of Accommodation Charges)

1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation and other Charges to be paid by Guests are specified in Attached Table No.1.
2. The Accommodation and other Charges referred to in the preceding paragraph shall be paid at the Front Desk upon request by the Hotel. Payments shall be made in cash or by means other than cash, such as travelers' cheques, gift certificates, or credit cards, that are recognized by the Hotel.
3. Once accommodation facilities have been made available by the Hotel, the Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily chooses not to utilize the facilities.

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 13. (Liabilities of the Hotel)

1. The Hotel shall compensate the Guest for any damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the course of its performance of, or by its non-fulfillment of, the Accommodation Contract and/or related agreements. However, this provision shall not apply if such damage has been caused by a reason(s) not attributable to the Hotel.
2. The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance Policy relative to unexpected fire or other disasters.

Article 14. (Handling when unable to provide Contacted Rooms)

1. The Hotel shall, when unable to provide the contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodations cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the Hotel shall pay the Guest Compensation equivalent to the cancellation charges. Through such payment, the Hotel shall be deemed to have fulfilled its obligation to compensate for the damages incurred by the Guest. However, if the Hotel's inability to provide accommodation is not the result of a cause(s) attributable to the Hotel, the Hotel will not pay Compensation to the Guest.

Article 15. (Handling of Deposited Articles)

1. The Hotel shall compensate the Guest for damages to articles the Guest has deposited at Front Desk when said articles have been lost, broken, or suffered other damage, except when the result of force majeure. However, when the type and value of such items has not been reported in advance by the Guest even the Hotel asked to report that, the Hotel shall compensate the Guest for the loss of money or valuables up to a maximum of 150,000 yen, except in cases where loss or damage was caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel.

2. The Hotel shall compensate the Guest for damages to articles, money and valuables the Guest has brought into the Hotel and has not deposited at the Front Desk, when damages including loss or breakage were caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel. However, when the type and value of such items has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest for the loss up to a maximum of 150,000 yen, except in cases where loss or damage was caused intentionally or by gross negligence on the part of the Hotel.

Article 16. (Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before the Guest's arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of check-in.
 2. When a Guest's baggage or belongings are found to be left behind after check-out, and the ownership of the article is confirmed the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, Hotel shall keep the article for 7 days since the article was found, and then bring the article to the nearest police station based on the Laws and Regulation.
 3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of Preceding Article in the case of Paragraph 1, and in the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.
-

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 17. (Liability in regard to Parking)

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or/negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

Article 18. (Liability of the Guest)

The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through the intention or negligence of the Guest.

Article 19. (Entering into Guest Room)

1. In the following cases, the hotel may enter the guest room without the permission of the guest even after concluding the accommodation contract.
 - (1) When providing hotel services such as cleaning and room service
 - (2) When an act that violates the rules of use or confirmed its concern
 - (3) When it is determined that needs to enter the room according to police and/or fire department's guidance

Article 20. (Personal Information)

The Hotel will appropriately handle all personal information provided by guests in accordance with Act on the Protection of Personal Information.

Article 21. (Governing Language)

These terms are provided in both Japanese and English. In case of a discrepancy between the Japanese and the English, the Japanese version will take precedence.

Article 22. (Changes to Terms and Conditions for Accommodation Contract)

1. This Accommodation Contract corresponds to a standard contract stipulated under the Civil Law of Japan. As such, we may make changes in accordance with the applicable provisions of the Civil Law if such changes in the Terms and Conditions are found to suit the general interests of our hotel guests and are reasonably deemed necessary.
2. In the event changes have been made to this Contract, the Hotel will post the contents of the changed terms and conditions on its website. The newly changed terms and conditions will take effect from the effective date prescribed when they are posted on our website. When changes are made to this Contract, the Hotel will publicize the specifics in a proper manner, such as in writing or via the information on the in-guestroom.

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

[Attached Table No. 1] Calculation Method for Accommodation Charges
(Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

[Attached Table No.2] Cancellation Charge for Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Fee that Guest Pays Breakdown of Total Fee		Calculation of Taxes
Accommodation Fee	①Basic Fee(Room rate) ②Service Charge (①× 1 5 %)	(A) Consumption Tax(①+②) × 1 5 % (B) Kyoto City Accommodation Tax One night per pax Total of Basic fee and Service Charge
	③Tax (A)Consumption Tax (B)Kyoto City Accommodation Tax	Less than 20,000JPY: 200JPY 20,000JPY to Less than 50,000JPY: 500JPY 50,000JPY and More : 1,000JPY
Additional Fee	④Food & Beverage Fee and other usage fee ⑤Service Charge (④× 1 5 %)	(C) Consumption Tax(④+⑤) × 1 5 %
	⑥Tax (C) Consumption Tax	

	No Show	On the Day	Day Before	1 0 Days Before	2 0 Days Before	3 0 Days Before
9 Rooms or Less	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %			
1 0 - 5 0 Rooms	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	8 0 %	5 0 %	—
5 1 Rooms or More	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %	8 0 %	5 0 %	3 0 %

Remarks:

1. The percentages signify the rate of the cancellation charge for the Basic Accommodation Charges.
2. In the case that the number of days for accommodation has been reduced, penalty for one day (first day) shall be charged, regardless of the number of days reduced.
3. Aside from above, cancellation charge for individual booking refers to the condition indicated in the letter of accommodation, or the contract will take precedence for group booking cancellation.

These charges are subject to change in accordance with revisions to the Tax Laws concerned.

House Regulation

House Regulation established by the Hotel to ensure that Hotel Guests have pleasant and safe stay. Every Guest is requested to observe and comply with this House Regulation in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions of Accommodation Contract.

A Guest who does not comply with the House Regulation may not be permitted to use the Hotel facilities and/or stay pursuant to Article 7 of said Terms and Conditions. In addition, the Hotel shall not be liable to any Guests for any damages caused by his/her failure to comply with the House Regulation.

1. Guestroom

1. Please review the emergency exit instructions posted on the inside of the guestroom door upon your arrival.
2. While in your room and especially at nighttime, please lock the guestroom door, and be sure to use the safety latch.
3. Be sure to identify any callers through the door scope and keep the safety latch on when opening the door. Please do not admit unknown visitors into your room. When suspicious stranger is by the door, please contact the Reception Desk.
4. Smoking is prohibited in all guestrooms. Kindly refrain from smoking in areas other than the designated smoking areas within the premises. Furthermore, kindly refrain from engaging in any activity that may cause a fire. Please be advised that if a Guest is found to have smoked inside a guestroom, costs for cleaning bedding materials, curtains, wall covering, and others shall be charged to the offending Guest at cost.
5. Be cautious of the other ways a fire could be started.
6. Using heating apparatus, cooking appliances that generates heat in your room is prohibited.
7. Please do not place any items in the corridors, stairwells or in any of the shared spaces. When the event of an incident such as a fire or earthquake, these items may end up blocking an escape route.

8. In the event of a fire, please contact the front desk
9. Please do not use your room for any primary purpose other than residential use without the prior approval of the Hotel.
10. Please use all Hotel equipment or fixtures only at their provided spots and for the purpose designated for them. Please do not change the arrangement of the room to any great extent without prior approval of the Hotel.
11. Please do not place any article that will blemish the approval of the Hotel by the window.
12. Kindly refrain from inviting visitors to your guestroom after 10:00 p.m.
13. Only registered Guests are allowed to stay in guestrooms.
14. Stay of Underage persons only shall not be accepted unless permitted by a person with parental authority.
15. For Guest's safety, in spite of the presence of "Do not disturb" sign, hotel employees may make a phone call or knock on the door of a guest room if the Hotel cannot contact the guest for a long time. Please note that hotel employees may enter the room in case of emergency or when it is judged to be necessary.
16. Kindly understand that Hotel may ask the Guest with Tattoos to cover said body Tattoos prior to permitting entrance of the Thermal Pool and the Fitness Gym.

2. Guest Room Key Card

1. When leaving your room, please be sure to lock the door and bring your key card with you. (All the Hotel doors are automatically locked.)
 2. For the use of the Restaurant, Bar and other facilities with signing for bills, the Hotel will charge the bill to the guestroom based on the Guest name and room number on the reservation system.
-

House Regulation

3. Payments

1. Please pay your bill at the Front Desk upon departure. There may be other occasions when bills are presented to you for payment during your stay which the Hotel ask you to settle the bills at that time.
2. Please kindly understand that advance deposits may be requested in certain instances upon arrival.
3. The Hotel will not make payment on behalf of Guests for substantial purchases of retail merchandise.
4. A service charge is levied for each outgoing call made from our guestrooms.
5. In addition to the consumption tax, a 15% service charge will be added to your bill.
6. Hotel does not accept currency exchange or any personal checks.

4. Valuables and Unclaimed Articles

1. Please avail yourself of the complimentary safe deposit boxes at the Reception for storing your cash, securities, jewelry or other valuables. The Hotel shall not be held responsible for cash or valuables lost or stolen, if these were kept in elsewhere. The Hotel shall not accept work of art or valuable antiques to store.
 2. Articles left behind without prior instructions from Guest will be kept for a certain period of time, and then be handled based on the Laws and Regulation.
 3. Articles held at the Hotel will be kept for a month. Articles exceeding the period will be disposed of accordingly.
5. Please do not bring onto the premises of the Hotel any of the following:
1. Animals, birds and pets of any kind, except assistance dogs.
 2. Gun power, flammable oil or other explosives or flammables.
 3. Item emitting a foul odor.

4. Firearms or swords or drugs or other articles, possession of which is prohibited by the laws of Japan.
5. Gambling or behaving in an indecorous manner or committing acts likely to cause annoyance to other Guests.
6. Wearing the hotel bathrobe and slippers outside of the guestrooms, except on the way to the Hotel Spa and Thermal Pool.
7. Wearing the hotel pajamas outside of the guestrooms.
8. Distributing advertising or publicity materials or selling commodities within the Hotel without the prior approval of the Hotel.
9. Taking photographs, films or video tapes for business purpose without the prior approval of the Hotel.
10. Entering facilities such as emergency stairway, rooftop, or the Fire Control Center in non-emergencies.

6. The Hotel shall not provide services at the Hotel to any person would contravene the laws or act against the public order as stipulated in Article 5 Paragraph 1 Subparagraph 3, or any person in an Organized Crime Group as stipulated in Article 5 Paragraph 1 Subparagraph 4. (In the event of afore said fact being discovered after acceptance of a reservation or after commencement of accommodation, the Hotel shall decline to provide further service as form the time of such discovery.)

7. A Guest shall be charged for any damages to the Hotel's property, furniture, and other equipment caused by the Guest.
 8. Please refrain from causing annoyance to other guests in neighboring rooms as well as the neighborhood by using a loud voice, singing, having the TV or speaker volume on too high.
 9. Please throw garbage in the guestrooms' trash bin or hand them to the Hotel staffs.
 10. The Hotel shall ask the Guest to follow the dress code in some facilities.
-